

腹腔鏡補助下肛門形成術で見えるものと見えないものに関する情報公開

1. 研究の対象

2014年1月1日から2020年12月31日までに当院で腹腔鏡下鎖肛根治術を受けた方

2. 研究目的・方法・研究期間

手術動画を振り返り、合併症や後遺症と照らし合わせて手術手技を後方視的に評価することが目的です。

対象患者さんの手術動画、画像、手術記録、カルテを調査します。調査期間は2022年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：ありません

情報；各種画像、手術動画、カルテ番号、年齢、初回手術の術式、手術記録、手術時間や出血量、合併症の有無、などです。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話：052-744-2959

担当者：名古屋大学医学部附属病院 小児外科 病院助教 横田一樹（研究責任者）